

高崎市小学生陸上教室記録会 兼 高崎市中体連陸上競技部強化記録会 競技注意事項

- 1, 2026年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項を適用する。
- 2, トラック競技はすべてタイムレースとする。
- 3, 招集については以下の通り行う。
 - ・招集場所はトラック種目はスタート地点。フィールド種目は競技場所とする。
 - ・招集完了時刻はトラック種目は競技開始の10分前、フィールド種目は30分前とする。
 - ・招集は招集完了時刻の10分前から開始する。この時刻を目安に招集場所に行くようにすること。
 - ・リレーは各走者、それぞれのスタート場所で招集を行う。
- 4, リレーのオーダーは大会当日の12:00までに記録室に申告すること。
- 5, スパイクシューズのピンの長さは、トラック種目は7mm以下、フィールド種目は9mm以下とする。
- 6, シューズの底厚規定は適用しない。
- 7, ウォーミングアップは以下の通りとする。
 - ・基本的には補助グラウンドで行うこと。円盤投競技中は場所を制限する。本競技場と補助グラウンドの間の道路では行わないこと。
 - ・投げる行為は禁止とする。
 - ・本競技場でのウォーミングアップは大会本部が指定した時刻に限り可能とすることがある。
- 8, 参加者は各自の責任において参加し、主催者は傷害の応急処置を除き、その他の事故においては一切の責任を負わない。各自、健康診断を受けるなど健康に十分留意の上、参加すること。
- 9, 小学生の部は以下の通り行う。
 - ・アスリートビブス（胸・背）は着用しない。トラック種目については腰ゼッケンを着用する。これについては、スタート地点で配布し、ゴール地点で回収する。
 - ・スパイクシューズの使用を認める。
 - ・100m、80mH、4×100mRは、セパレートレーンで行い、スタートはクラウチングスタートとする。
 - ・80mHは、第1ハードルまでが13m、ハードル間は7m、高さ70cmのハードル9台で行う。
 - ・800mはスタートからオープンレーンで行う。
 - ・不正スタートは、同一選手が2回行ったら失格とする。
 - ・走高跳は、はさみ跳びとする。開始の高さは当日決定し、上げ幅は最後の1人になるまで5cmとする。
 - ・走幅跳、ジャベリックボール投げの試技は3回とする。
 - ・走幅跳は、踏み切り板からの計測で行います。
 - ・ジャベリックボール投は、助走は15m以内とする。
- 10, 中学生の部は以下の通り行う。
 - ・アスリートビブスは、2・3年生の県中体連登録者は県から配布されたものを着用する。1年生と県中体連未登録者は、アスリートビブスを着用せずに競技に出場すること。
 - ・ハードル、投擲競技は男女別でそれぞれ中学生規格で行う。
 - ・不正スタートは1回で失格とする。
 - ・走高跳・走幅跳の選手はアスリートビブスの着用は片面でよい。
 - ・走高跳の開始の高さは当日決定し、上げ幅は最後の1人になるまで5cmとする。
 - ・走幅跳・砲丸投・円盤投は3回の試技を行い、トップ8はさらに3回の追加試技を行う。